

「(仮称)石狩市沖洋上風力発電事業 計画段階環境配慮書」の提出

2023年2月22日
 関西電力株式会社

当社は、本日、環境影響評価法に基づき、石狩市沖洋上風力発電事業に関する計画段階環境配慮書等[※]を経済産業大臣へ提出し、北海道知事へ意見を求めました。

配慮書等は、本年2月24日から4月7日まで、関係行政機関および当社ホームページで公表します。

当社は今後、地域の皆さまや関係行政機関からのご意見を賜り、環境保全に十分配慮し、事業実施の可能性など検討を進めてまいります。

当社グループは、2040年までに国内で新規開発500万kW、累計開発900万kW規模を目標に再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組み、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

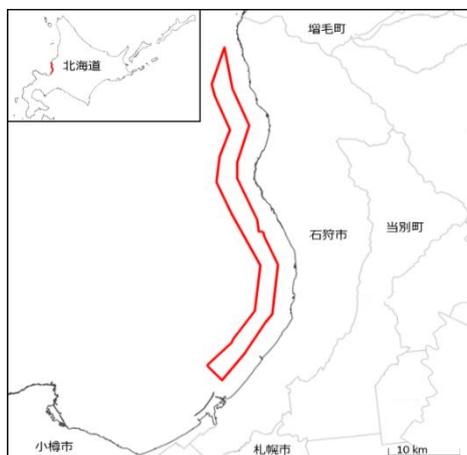
※環境の保全のために配慮すべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。

以上

< (仮称) 石狩市沖洋上風力発電事業の概要 >

事業者	関西電力株式会社
場所	北海道石狩市沖の海域
設備規模 (発電出力)	最大 1,785,000kW (12,000~15,000kW級風力発電設備 最大130基程度)
今後の流れ	配慮書(今回) → 方法書 → 環境調査 → 準備書 → 評価書

< 事業実施想定区域 >



※上図は国土地理院で公開されている地理院タイルを使用
 ※赤枠の範囲内が事業の可能性を検討している範囲

配慮書の公表及び縦覧案内については [こちら](#) をご覧ください。